

空の安全と JAL 争議の全面解決を 支援する茨城の会

2024 年 1 月 1 日 新年号

連絡先 090-4074-8705

090-3069-6438

yoshi_yoshi_2039@yahoo.co.jp

新年 明けましておめでとうございます

昨年 12 月 16 日、筑西市中館農村集落センターにて設立総会が行われました。

来賓の立憲民主党設楽詠美子県会議員の挨拶に続き、3 人の争議団員から現状報告、決意表明があり、超党派代表の福田昭夫衆議院議員、日本共産党江尻加那県会議員からのメッセージも読み上げられました。筑西市外の遠方からの参加もあり、和やかな雰囲気での集会となりました。

この会の目的は、①県内に住む当該客室乗務員を激励し②JAL 被解雇者労働組合（JHU）に連帯し世論に訴え解決促進を図る。③地域の課題など交流を図り連帯を強める。

年会費は、個人、団体とも 1,000 円です。

争議開始から丸 13 年、この時期に新しい支援組織ができたことは、JAL 争議支援者の拡大を意味するもので、争議解決の後押しとなることに間違いありません。

今後、解雇された人数と同じ 165 名の会員拡大を目標に頑張りましょう！



- ★JHU 山口委員長の話は良かった。資本は、容赦なく労働者を攻撃してくる。そういう皆さんの資本に対する怒りは共感できる。闘うにはエネルギーが必要だが応援したい。（N 関労中村洋子）
- ★茨城県西地区に当該の中田さんが住んでいることを知りました。同郷の方の艱難辛苦を見て見ぬふりをするのは、社会的な不正義です。よって、この闘いを支える会を結成しました。
(共同代表高松義雄)
- ★JAL 争議を支援する茨城の会の誕生を大変嬉しく思います。都労委の審問も終了し、今年は、あっせんと言う新たなステージに入りました。ここにきての支援組織の誕生は、JAL にとってはとても嫌なことだと思います。解決に向けての大きな力になっています。（JHU 組合員中田弥生）



12・22 JAL 本社大包围行動



22日のJAL本社包围行動では、茨城の会から6名参加し、共同代表の国府田喜久男さんが設立報告をしました。

放漫経営による破たんを逆手にとって、もの言う組合員たちを解雇したことは許せない！

茨城の会は、いろいろな団体や個人が一緒になって設立した。まだまだJAL争議を知らない人が多いが、この解雇の本質を広げて会員拡大をして、解決するまで共に頑張ります。



人員削減目標も超過達成していた。乗員は600人、客室乗務員は、6700人新規採用して被解雇者を一人も戻さない。これは、2010年に踏みにじられた人権を取り戻す闘いです。(乗員争議団近村団長)

今日22日、JALに業務改善勧告が出された。これは斎藤国公大臣からのメッセージと捉えた。私が入社してからJALの事故で731名が亡くなっている。この争議を解決することは、JAL、利用者、現場、株主、全てにおいて有利なことです。(JHU山口委員長)